

うじきづ じょうよう きづがわ
宇治木津線 城陽～木津川

計画段階評価

平成29年 9月

目次

1. 地域の意見聴取(第1回)の内容について	… 2
2. 地域の意見聴取(第1回)の結果について	… 6
3. 対応方針(ルート帯案)について	…20
4. 地域の意見聴取(第2回)の方法について	…27
5. 今後の計画段階評価のすすめ方(案)	…36

1. 地域の意見聴取(第1回)の内容について

1-1. 意見聴取の実施内容

■意見聴取期間

平成29年2月20日(月)～3月15日(水)

■意見聴取

・アンケートによる意見聴取

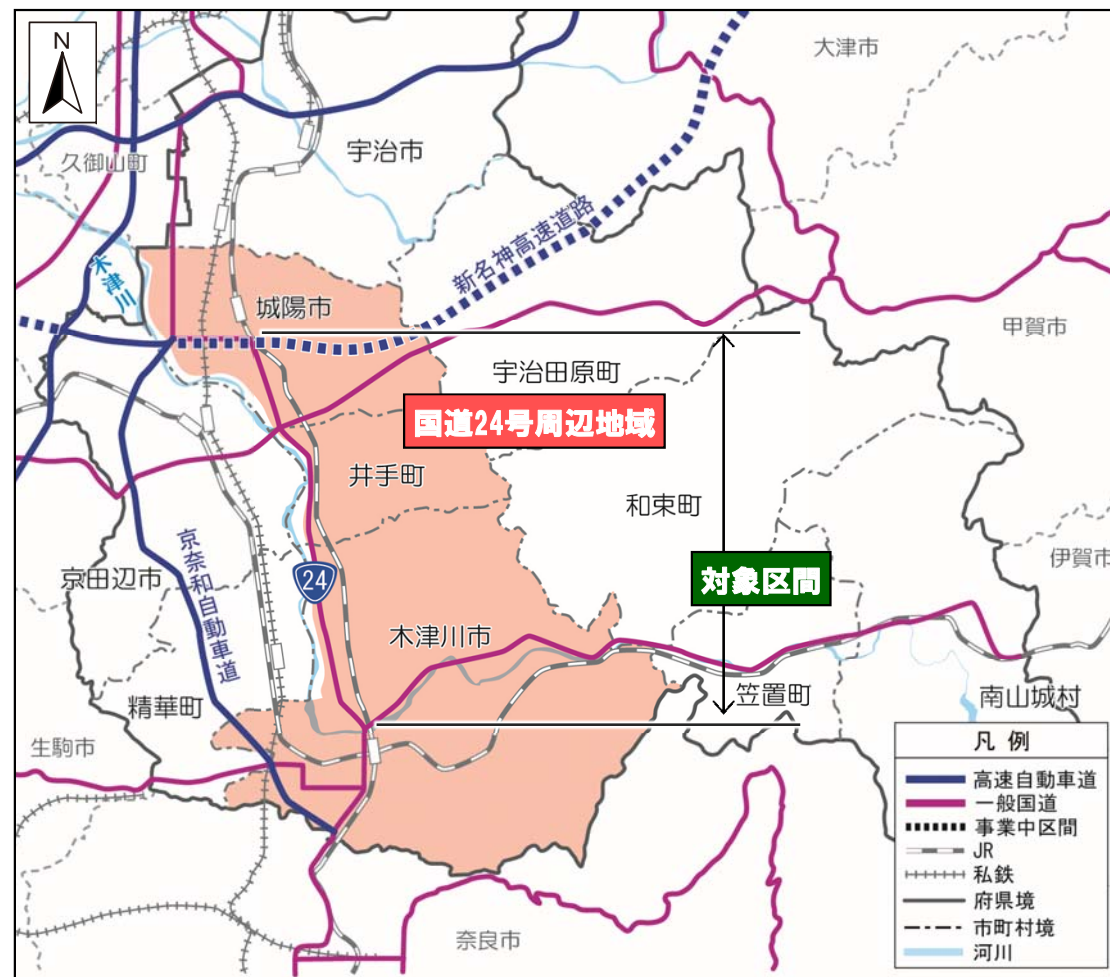
対象	調査対象者	調査手法	調査規模
地域住民	城陽市、井手町、木津川市	広報誌による配布・郵送回収	61,746世帯 (全世帯へ配布)
道路利用者	京都府等	Webアンケート (京都国道・京都府・自治体HP)	—
	沿道地域(※)	留置きアンケート (市町村役場等に配置)	—
事業者	城陽市、井手町、木津川市	広報誌による配布・郵送回収 または、郵送配布・回収	4,700事業所

※沿道地域：宇治市、京田辺市、宇治田原町、笠置町、精華町、和束町、南山城村

・ヒアリング調査による意見聴取

項目		
関係団体 (計24団体)	○自治体 【4自治体】	○経済団体 【3団体】
	○観光協会 【2団体】	○輸送機関 【2団体】
	○トラック協会 【1団体】	○農業協同組合 【5団体】
	○警察機関 【3団体】	○消防機関 【3団体】
	○医療機関 【1団体】	

・調査票(地域住民、事業者)の配布範囲



1-3. 意見聴取の実施状況

■調査票形式、ヒアリング調査の実施状況

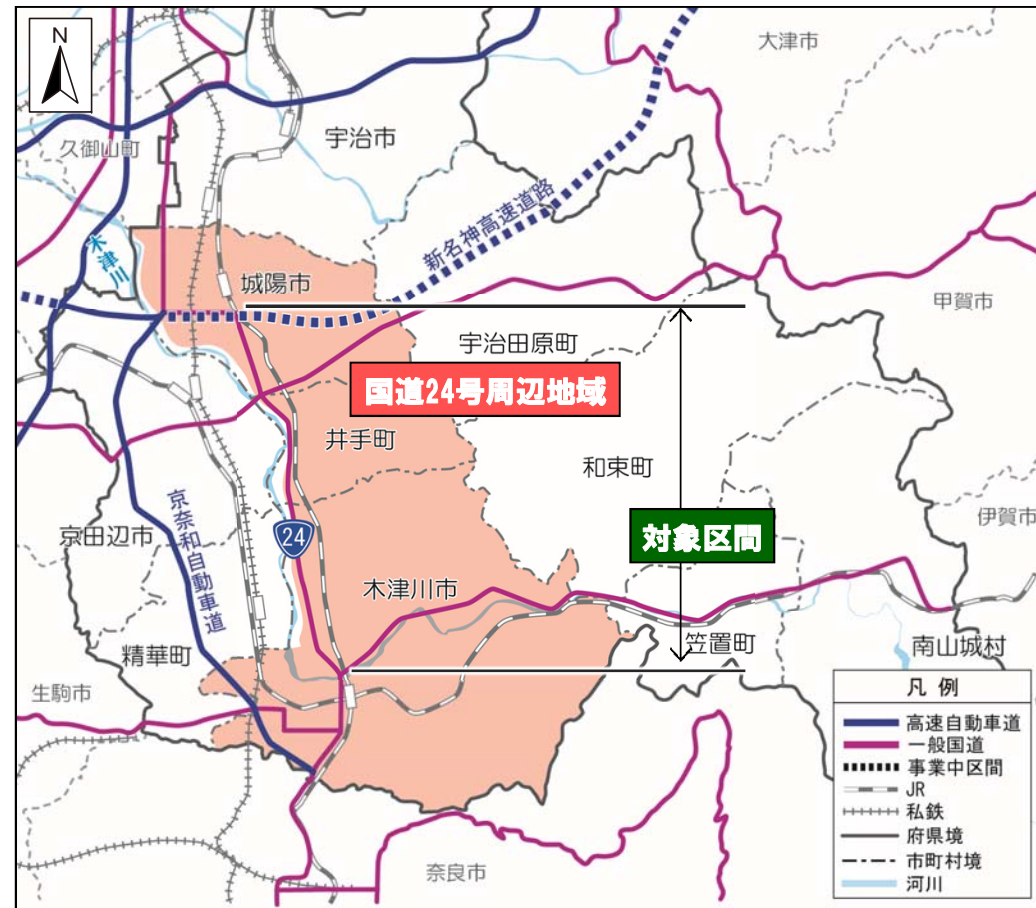
・アンケートによる意見聴取

調査票形式		配布回収数			
		配布数	回収数	回収率	参考
地域住民	広報誌による配布・郵送回収	61,746部	11,517部	19%	12,020部
道路利用者	留置きアンケート	—	294部	—	
事業所	広報誌による配布・郵送回収 または、 郵送配布・回収	4,700部	1,574部	33%	

・ヒアリング調査による意見聴取

ヒアリング調査		実施状況
関係団体	自治体	4自治体
	経済団体	3団体
	観光協会	2団体
	輸送機関	2団体
	トラック協会	1団体
	農業協同組合	5団体
	警察機関	3団体
	消防機関	3団体
	医療機関	1団体
	計	24団体

・調査票(地域住民、事業者)の配布・回収範囲



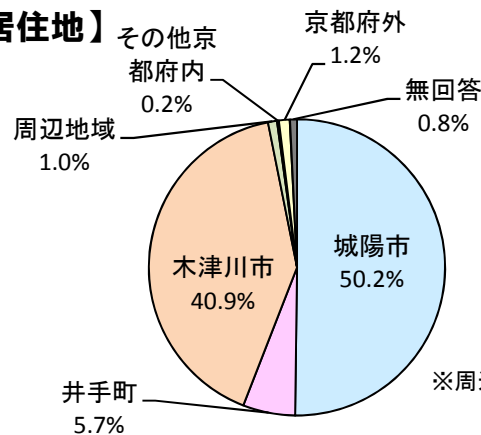
2. 地域の意見聴取(第1回)の結果について

2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(地域区分・属性)

○回答者の地域区分の割合は、城陽市が半数、木津川市が約4割を占めており、国勢調査の世帯数と同様の傾向である。

回答者の地域区分

【居住地】



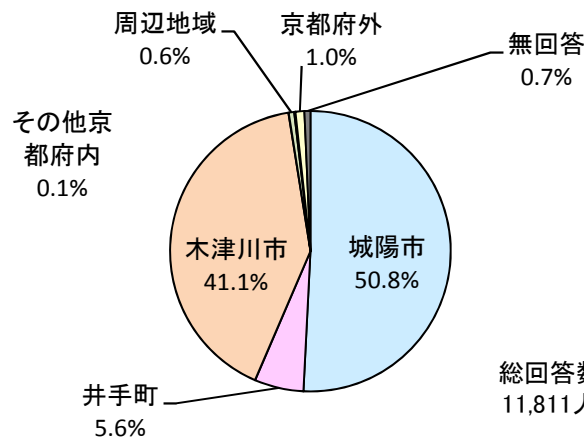
総回答数
12,020人

※周辺地域・・・宇治市、京田辺市、宇治田原町、笠置町、精華町、和束町、南山城村

【回答数とその割合】

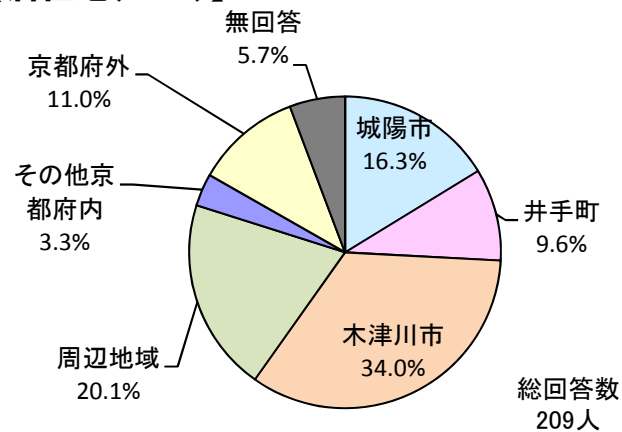
項目	回答数	割合
1 城陽市	6,034	50.2%
2 井手町	687	5.7%
3 木津川市	4,921	40.9%
4 周辺地域	117	1.0%
5 その他京都府内	24	0.2%
6 京都府外	145	1.2%
7 無回答	92	0.8%
合計	12,020	100.0%

【居住地(広報誌による配布+留置き)】



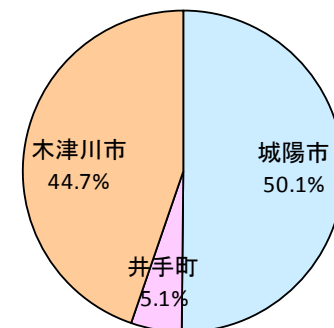
総回答数
11,811人

【居住地(Web)】



総回答数
209人

【参考】市町別世帯数の割合(公表データ)



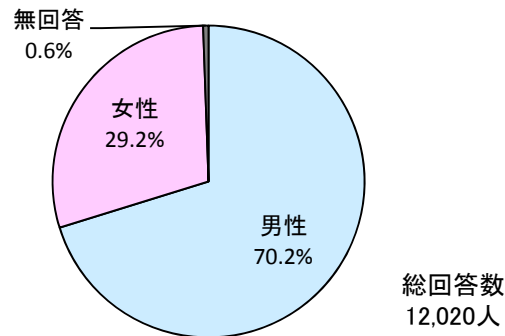
※城陽市・井手町・木津川市の世帯数で集計
出典：H27国勢調査

2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(地域区分・属性)

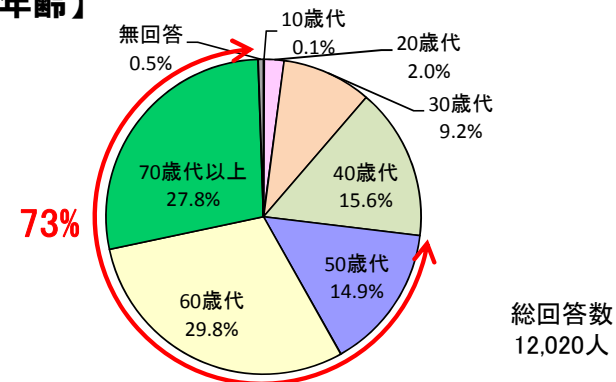
- 意見聴取は、男性が7割以上と高く、女性の割合が低い傾向。年齢は50歳以上が7割を占める。
- 統計データと比較すると、本取得データは性別では男性、年齢では50歳以上のデータが多くなっている。

回答者の属性

【性別】

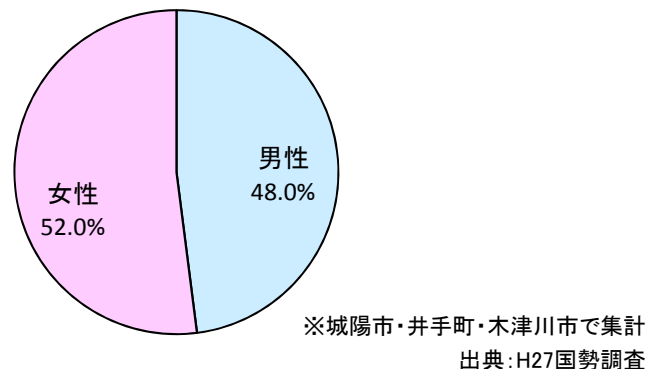


【年齢】

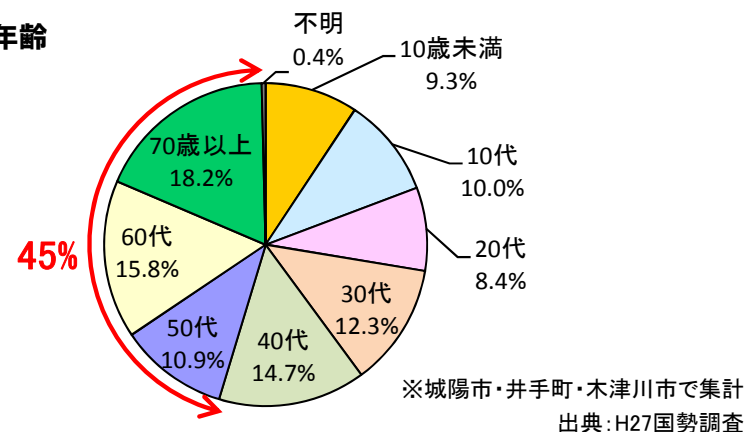


【参考】公表データ(国勢調査)

性別



年齢



2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(利用目的・手段・頻度)

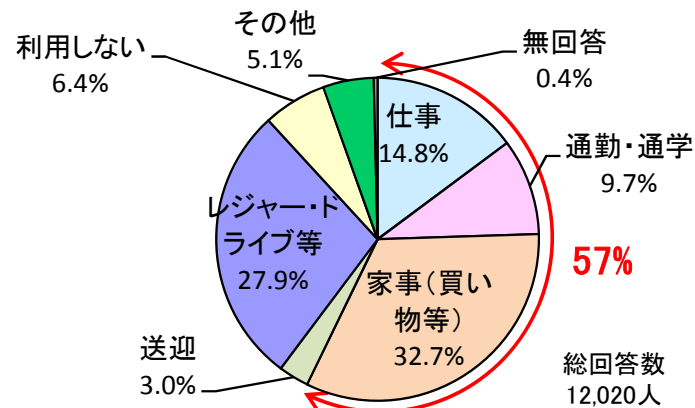
○利用目的では、「仕事」「通勤・通学」「家事(買い物等)」が合計で約6割と半数以上を占める。

○移動手段では、「自動車利用」が約9割を占める。

○国道24号の利用頻度では、「ほとんど毎日」が約2割を占める。

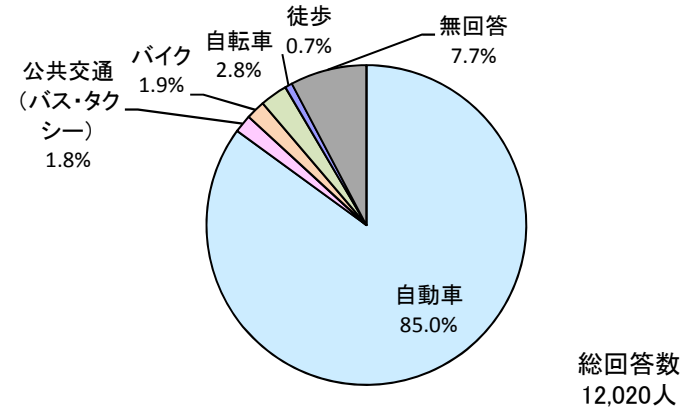
国道24号(城陽～木津川)の利用目的

【問1-①】主な利用目的【単一回答】



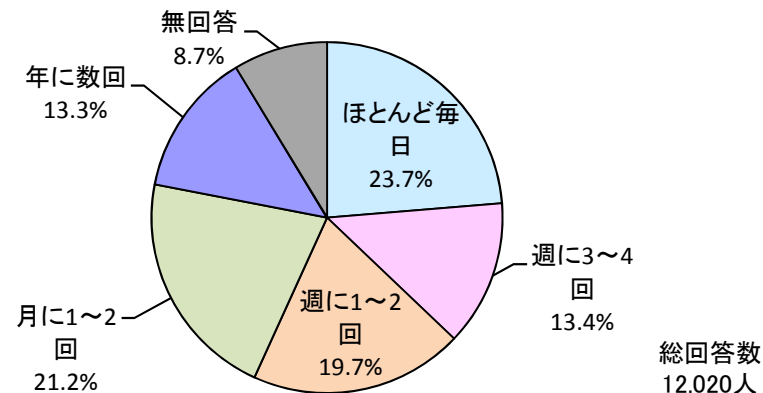
国道24号(城陽～木津川)の移動手段

【問1-②】主な移動手段【単一回答】



国道24号(城陽～木津川)の利用頻度

【問1-③】利用頻度【単一回答】



2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(地域の課題)

○京都南部地域の課題では、全ての項目で「問題だと思う(問題+やや問題)」割合が8割を上回る。

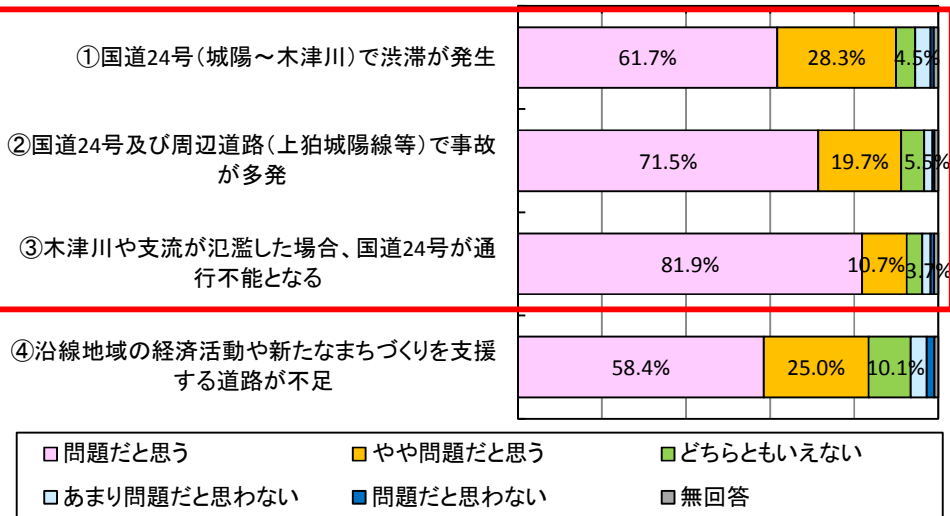
○特に、「①国道24号で渋滞が発生」、「②国道24号及び周辺道路で事故が多発」、「③木津川や支流が氾濫した場合、国道24号が通行不能となる」について、9割以上が問題だと感じている。

地域の課題

【問2-1】 国道24号(城陽～木津川)の道路交通に関する①～④のそれぞれの問に対する回答について、ハガキにご記入ください。【単一回答】

【問2-2】 国道24号(城陽～木津川)の道路交通に関する問題について、問2-1の回答の主な理由や、地域で困っていること、改善して欲しいこと等があれば、ハガキの回答欄にご自由にご記入ください。【自由回答】

0% 20% 40% 60% 80% 100%



総回答数
12,020人

分類	主な意見
渋滞に関する意見 【3,446件】	<ul style="list-style-type: none"> ・南北の道路が2本しかなく、いつも渋滞している。 ・国道24号が渋滞して、抜け道としての府道・市道を利用しており、危険である。渋滞緩和に向けての道路を整備してほしい。
事故に関する意見 【1,564件】	<ul style="list-style-type: none"> ・国道24号が渋滞することで、生活道路に車両が進入し、事故の原因となっている。 ・国道24号で事故が発生した場合、道路が少ないため交通がマヒする。
防災に関する意見 【402件】	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における避難道路の確保が不十分であるので、道路の新設が必要である。 ・バイパス等の道路がないため、災害時の交通寸断が問題である。
まちづくりに関する意見 【343件】	<ul style="list-style-type: none"> ・南北の道路が少ないため、経済活動に負の影響を与えている。 ・道路の不足を解消することで、城陽～木津川地域の発展につながると思う。

※総延べ回答数:8,081件

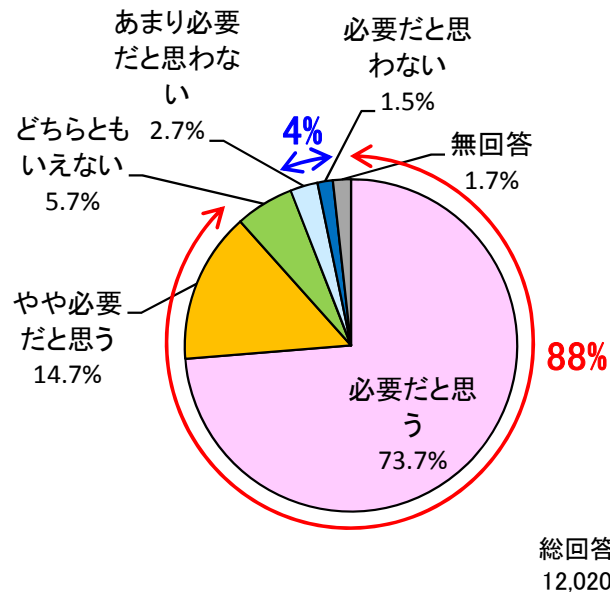
2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(道路整備の必要性)

○道路整備が「必要だと思う(必要+やや必要)」割合は約9割を占める。また、「必要だと思わない(あまり必要でない+必要でない)」割合は1割を下回る。

○道路整備の必要性において、「必要」と回答した人は「③木津川や支流が氾濫した場合、国道24号が通行不能となる」、「②国道24号及び周辺道路で事故が多発」、「①国道24号で渋滞が発生」について、特に問題を感じている。

道路整備の必要性

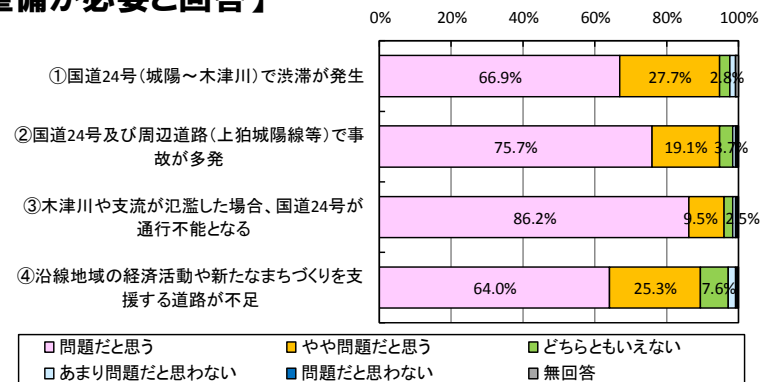
【問3】 国道24号(城陽～木津川)において、「問2-1」及び「問2-2」で回答した問題を解消するために、道路整備が必要だと思いますか。回答をハガキにご記入ください。【単一回答】



地域の課題

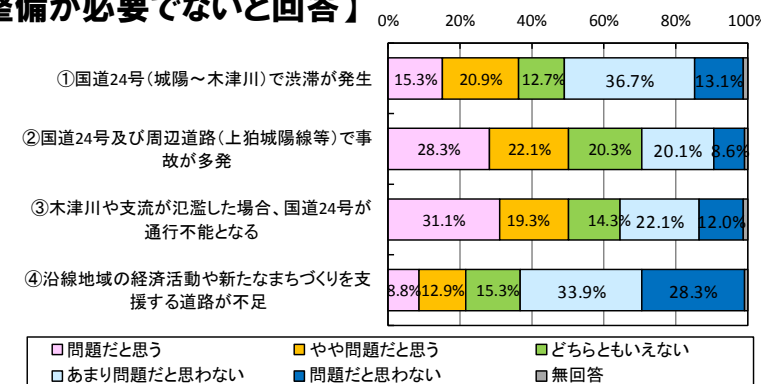
【問2-1】 国道24号(城陽～木津川)の道路交通に関する①～④のそれぞれの問に対する回答について、ハガキにご記入ください。【単一回答】

【道路整備が必要と回答】



※割合は、問3で道路整備が「必要、やや必要」の回答者に対する集計結果。

【道路整備が必要でないと回答】



※割合は、問3で道路整備が「必要だと思わない、あまり必要だと思わない」の回答者に対する集計結果。

2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(自由意見)

○「渋滞に関する意見」の意見・要望が最も多く、次いで「事故に関する意見」、「防災に関する意見」、「まちづくりに関する意見」の意見・要望があった。

○その他意見では、「道路整備」や「整備時期」に関する意見・要望が多い。

自由意見

【問5】ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。【自由回答】

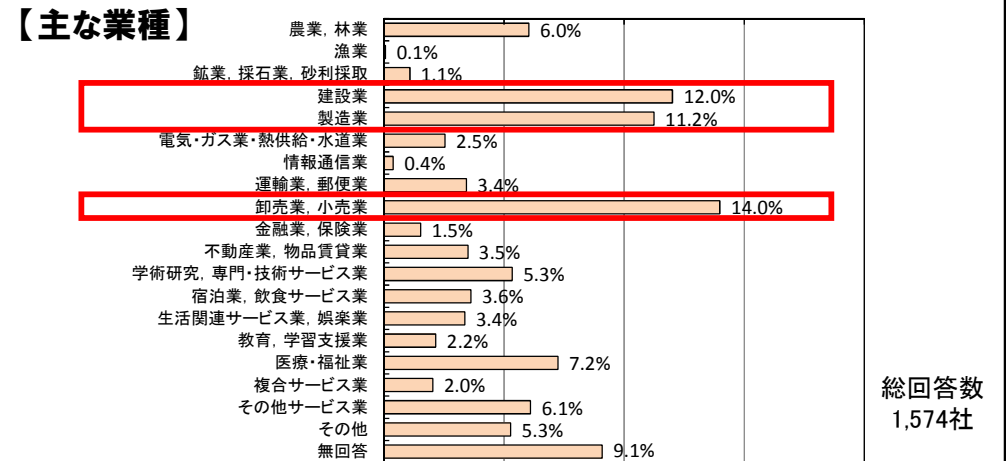
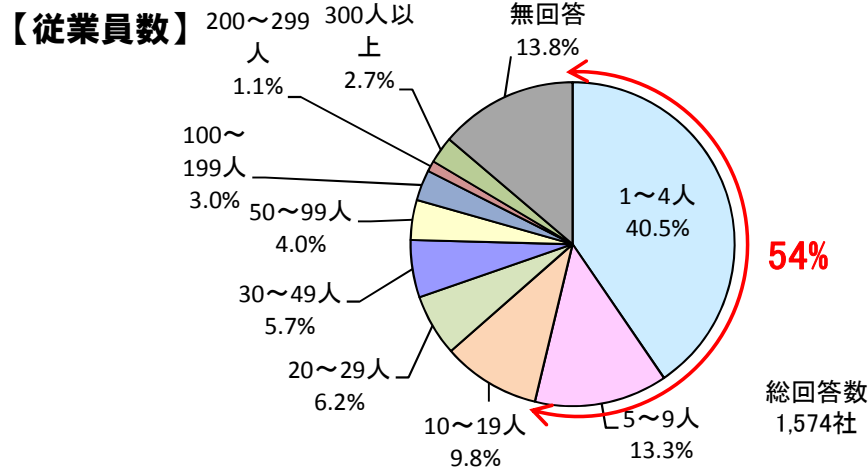
分類		主な意見	
渋滞に関する意見 【1,234件】		<ul style="list-style-type: none"> ・新名神高速道路が全線開通すると城陽ICでおりる車が増え、国道24号の渋滞が悪化するため、道路整備をお願いしたい。 ・国道24号がよく渋滞するため、通勤・買物・通院等の生活面で大変迷惑している。 	
事故に関する意見 【689件】		<ul style="list-style-type: none"> ・井手町内の上狛城陽線が抜け道として利用されており、歩行者・自転車通行時に危険に感じる。バイパスのような道路が必要。 ・国道24号に並行している上狛城陽線の交通量が増加しており、通学時に危険である。 	
防災に関する意見 【431件】		<ul style="list-style-type: none"> ・木津川右岸地域には国道24号以外に幹線道路が無く、災害時の対応が心配である。 ・国道24号の堤防道路が決壊した場合、住宅が浸水する。避難道路の整備も必要だと思う。 	
まちづくりに関する意見 【386件】		<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の活性化や新しいまちづくりのために、道路ネットワークの不足は早急に解決すべき問題である。 ・木津川右岸地域は、左岸地域に比べて発展が遅れている。宇治木津線整備の予算確保に全力をあげてほしい。 	
その他	道路整備に関する意見	新規整備【932件】	・国道24号線を補完する山城南部を南北に結ぶバイパスが必要である。
		既存道路整備【731件】	・既存道路を拡幅すべきだと思う。
	整備時期に関する意見【363件】		・住宅も建って人口も増え、車も増加し企業もできているので、安心して生活できるために早急な道路整備をお願いしたい。
	反対意見【290件】		<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備で、自然環境を壊すことの無いようにしてもらいたい。これ以上の環境破壊はやめて欲しい。また、国道24号と鉄道の線路により、生活圏が分断されてしまっている。 ・新たな道路を作ることは反対です。どの問題も道路で作る事で解決するとは思えません。

※総延べ回答数:5,963件

2-2. 意見聴取の結果 事業者への調査票(属性・運行目的・利用頻度)

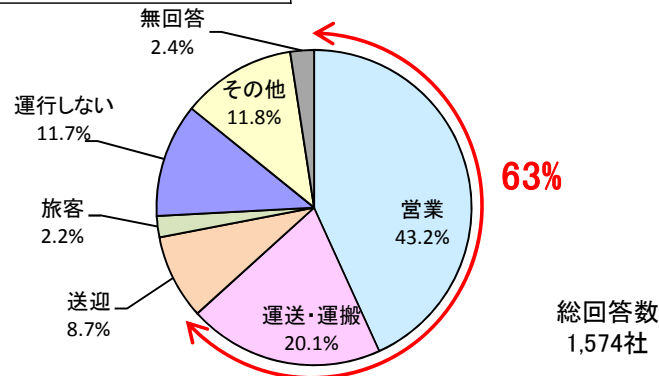
- 従業員数が10人未満の会社が約5割を占め、業種は「卸売業・小売業」、「建設業」、「製造業」が1割を上回る。
- 運行目的では、「営業」が約4割、「運送・運搬」が約2割と合計で半数以上を占める。
- 国道24号の利用頻度では、「ほぼ毎日」が半数近くを占める。

事業者の属性



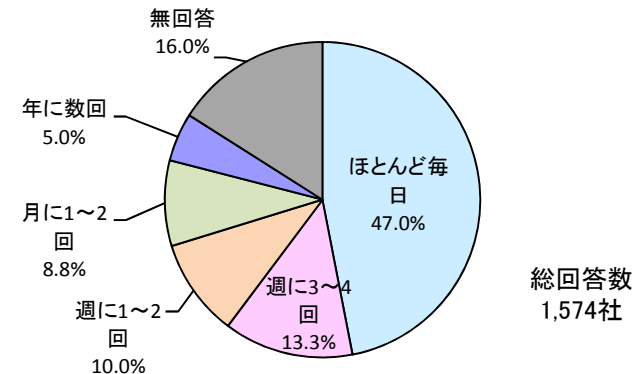
国道24号(城陽～木津川)の運行目的

【問1-①】主な運行目的【単一回答】



国道24号(城陽～木津川)の利用頻度

【問1-②】利用頻度【単一回答】



2-2. 意見聴取の結果 事業者への調査票(地域の課題)

○京都南部地域の課題では、全ての項目で「問題だと思う(問題+やや問題)」割合が8割を上回る。

○特に、「①国道24号で渋滞が発生」、「②国道24号及び周辺道路で事故が多発」、「③木津川や支流が氾濫した場合、国道24号が通行不能となる」について、約9割が問題だと感じている。

地域の課題

【問2-1】 国道24号(城陽～木津川)の道路交通に関する①～④のそれぞれの問に対する回答について、ハガキにご記入ください。【単一回答】

0% 20% 40% 60% 80% 100%

①国道24号(城陽～木津川)で渋滞が発生

70.6% 19.4%

②国道24号及び周辺道路(上狛城陽線等)で事故が多発

72.6% 16.6% 5.8%

③木津川や支流が氾濫した場合、国道24号が通行不能となる

82.6% 9.1%

④沿線地域の経済活動や新たなまちづくりを支援する道路が不足

67.4% 17.6% 8.0%

□問題だと思う □やや問題だと思う □どちらともいえない
□あまり問題だと思わない □問題だと思わない □無回答

総回答数
1,574社

【問2-2】 国道24号(城陽～木津川)の道路交通に関する問題について、問2-1の回答の主な理由や、地域で困っていること、改善して欲しいこと等があれば、ハガキの回答欄にご自由にご記入ください。【自由回答】

分類	主な意見
渋滞に関する意見 【375件】	<ul style="list-style-type: none"> ・新名神が出来ると交通量がさらに多くなる。新たなバイパスが必要だと思う。 ・国道24号がよく混雑するので、所要時間が読めず客先との約束にも充分応えられない。
事故に関する意見 【134件】	<ul style="list-style-type: none"> ・国道24号の渋滞が多いため、抜け道に交通が流れ、生活道路も危険である。 ・もっと幅の広い安全な道が必要である。
防災に関する意見 【24件】	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に、スムーズな物資供給を行うことが必須なため、道路整備が必要だと思う。
まちづくりに関する意見 【39件】	<ul style="list-style-type: none"> ・京阪神都市圏や中京都市圏からの交通アクセスが悪く、経済や観光地域力の発展を阻害している。
その他 【315件】	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防道路である国道24号について、道路幅の拡大をしてもらいたい。

※総延べ回答数:887件

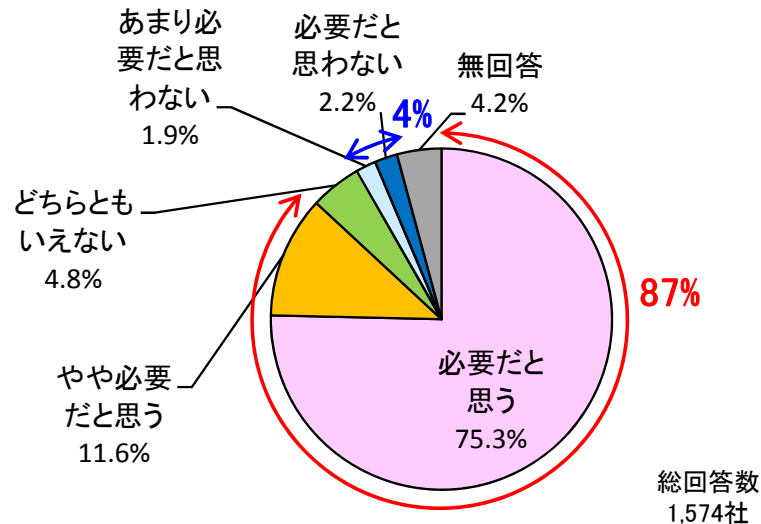
2-2. 意見聴取の結果 事業者への調査票(道路整備の必要性)

○道路整備が「必要だと思う(必要+やや必要)」割合は約9割を占める。また、「必要だと思わない(あまり必要でない+必要でない)」割合は1割を下回る。

○道路整備の必要性において、「必要」と回答した人は「③木津川や支流が氾濫した場合、国道24号が通行不能となる」、「②国道24号及び周辺道路で事故が多発」、「①国道24号で渋滞が発生」について、特に問題を感じている。

道路整備の必要性

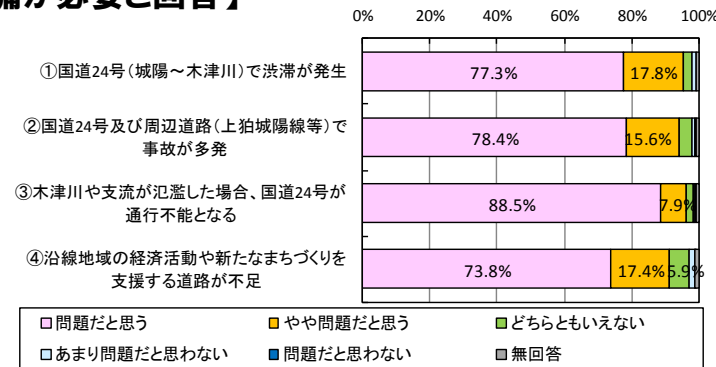
【問3】 国道24号(城陽～木津川)において、「問2-1」及び「問2-2」で回答した問題を解消するために、道路整備が必要だと思いますか。回答をハガキにご記入ください。【単一回答】



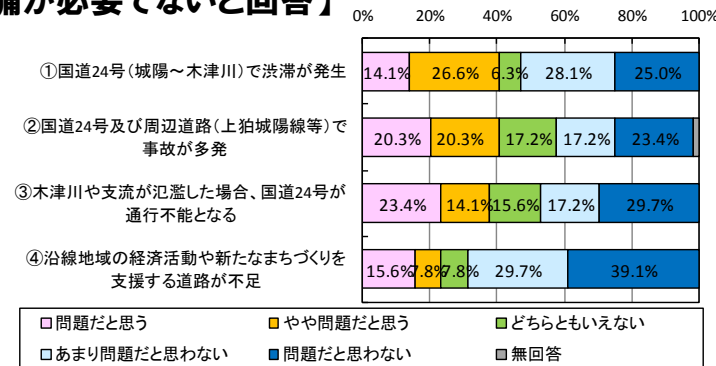
地域の課題

【問2-1】 国道24号(城陽～木津川)の道路交通に関する①～④のそれぞれの問に対する回答について、ハガキにご記入ください。【単一回答】

【道路整備が必要と回答】



【道路整備が必要でないと回答】



2-2. 意見聴取の結果 事業者への調査票(自由意見)

- 「渋滞に関する意見」の意見・要望が最も多く、次いで「事故に関する意見」、「まちづくりに関する意見」、「防災に関する意見」の意見・要望があった。
- その他意見では、「道路整備」や「整備時期」に関する意見・要望が多い。

自由意見

【問5】ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。【自由回答】

分類		主な意見
渋滞に関する意見 【88件】		<ul style="list-style-type: none"> ・国道24号は混雑しており、アクセスに時間がかかることからロスが大きい。社会経済の損失に繋がるため、道路整備を望む。 ・新名神高速道路の開通により、ますます交通渋滞が悪化するため、早期に道路整備をしてもらいたい。 ・国道24号の渋滞を読んで早めに現場に出ることがある。効率が悪いので対策してもらいたい。
事故に関する意見 【51件】		<ul style="list-style-type: none"> ・国道24号は特に大型トラックが多いため、広幅員道路とする等、その点を考慮した道路整備に努めてもらいたい。 ・渋滞が発生している道路、事故危険性の高い道路に代わる道路整備に期待している。
防災に関する意見 【25件】		<ul style="list-style-type: none"> ・災害時には、国道24号に代わる代替路が存在しない。代替路が必要である。 ・大雨の際に国道24号を走行すると、木津川の水位が高くて心配。防災対策として、国道24号以外に南北を繋ぐ道路が必要。
まちづくりに関する意見 【32件】		<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備が行われることで住環境の向上に繋がり、住み良いまちになる。若い世帯、住民の増加に繋がると思う。 ・木津川右岸地域の市町が発展するために、新たな道路整備の早期実現を望む。
その	道路整備に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> 新規整備【118件】 ・城陽～木津川間のバイパス開通を希望する。物流システム上、最重要道路と考えている。 既存道路整備【46件】 ・既存道路の整備も必要だと思う。
	整備時期に関する意見【35件】	<ul style="list-style-type: none"> ・宇治木津線の早期着工をお願いしたい。できれば新名神全線開通時までには開通できるよう努力していただきたい。
他	反対意見【16件】	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が減少していくのに、これ以上道路を作る必要はない。

※総延べ回答数:543件

2-3. 意見聴取の結果 関係団体ヒアリング(業種別の傾向)

- 「渋滞に関する意見」や「事故に関する意見」は全業種で挙げられ、課題として認識されている。
- 「まちづくりに関する意見」や「防災に関する意見」についても、関連する業種で意見が挙げられている。
- 「道路整備に関する要望」は、全業種で挙げられている。

■関係団体ヒアリングにおける課題や道路整備の要望への言及の状況

意見分類		業種						
		自治体 (4自治体)	経済団体 (3団体)	観光協会 (2団体)	輸送機関 トラック協会 (3団体)	農業協同組合 (5団体)	警察機関 (3団体)	消防・医療機関 (4団体)
課題	渋滞に関する意見	●	●	●	●	●	●	●
	事故に関する意見	●	●	●	●	●	●	●
	防災に関する意見	●	●	—	—	●	●	●
	まちづくりに関する意見	●	●	●	—	●	—	—
道路整備に関する要望		●	●	●	●	●	●	●

凡例：
●：言及あり
—：言及なし

2-3. 意見聴取の結果 関係団体ヒアリング(業種別の傾向)

○主な意見として、「渋滞に関する意見」、「事故に関する意見」、「防災に関する意見」、「まちづくりに関する意見」が多い。

○地域の課題や期待について、業界に限らず、類似した意見を持っており、地域として早期着工・早期開通を望んでいる声が多い。

分類		関係団体ヒアリングにおける主な自由意見
課題に対する意見分類	渋滞に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・国道24号は、朝夕の渋滞が著しい。特に泉大橋への交通集中が激しい。脇道に逃げる車も多く、幅員が狭いため交通安全面での問題も大きい。【経済団体】 ・梅の観光地である「中地区」に多くの観光客が訪れており、アクセス道路として主に国道24号が使われている。【観光協会】 ・砂利の運搬においても、南北方向は国道24号をメインで利用しているが、城陽新池～国道307号の区間は慢性的な渋滞が発生しており非常に問題である。【輸送機関】 ・お茶は鮮度が重要なため、毎朝市場の開場時間までに国道24号を通して輸送しているが、通勤ピーク時間と重なるため、国道24号の渋滞に巻き込まれる。【農業協同組合】 ・アルプラザの周辺は、道が狭く緊急車両が通行しにくい。【医療機関】
	事故に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・国道24号の交通が上狛城陽線に転換している。上狛城陽線は道路沿いに小学校が立地し、通学路が指定されているなか、一部の区間は歩道がなく、危険な状況となっている。【自治体】 ・国道24号は、堤防上を通過する関係上、夜間街路灯や路肩もなく、その上に歩道も整備されていない状態であり、夜間通行する運送業のトラック等においては接触事故の危険性の高い道路であると考えられる。【経済団体】 ・対策としてゾーン30を指定した地区では、昨年2年後の効果検証のため交通量を測定したところ、交通量が増加していた。国道24号からの迂回交通が生活道路を利用することにより、交通安全に影響があると感じている。【警察機関】
	防災に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・現道24号は、堤防道路の区間以外は低いところを走っているため、内水氾濫によって寸断される可能性が高く、緊急輸送道路としての機能上の問題が大きい。【自治体】 ・地域には天井川が多く、大雨による浸水の危険性がある。過去に、木津川市内において内水被害で浸水したことがある。現在の道路網では、災害時に消防本部から山城地区に行けなくなることが想定されるため、バイパス整備は救急活動にとって重要である。【消防機関】
	まちづくりに関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の経済、産業の活性化にはその起爆剤となる道路整備が重要であるが、木津川右岸地域における南北の幹線道路は国道24号1本であり、木津川左岸地域と比較しても整備が遅れている。【自治体】 ・井手町内では産業の衰退が著しく、宇治木津線は悲願の道路である。【経済団体】

2-4. 第1回意見聴取の結果のとりまとめ

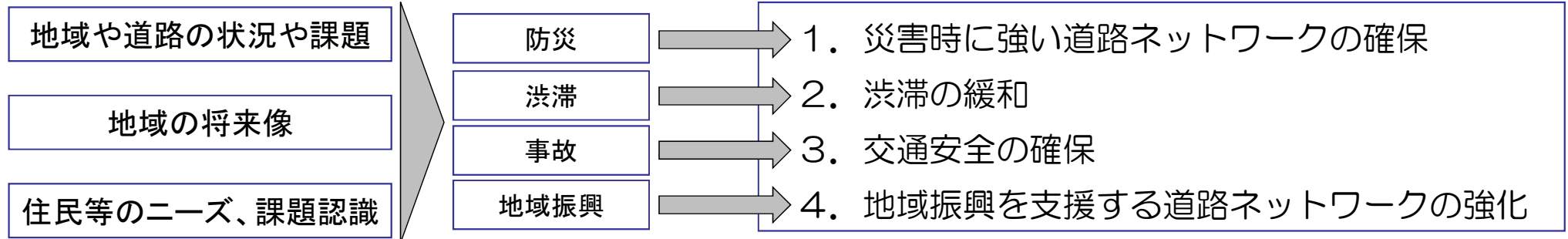
項目		主な内容	道路整備に 求められるもの
現状の道路について	渋滞に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・国道24号の渋滞を不便に感じている。【地域住民・事業所】 ・国道24号の渋滞は、大きな経済損失の要因であり問題であると認識している。【商工会議所】 	渋滞の緩和
	事故に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・国道24号及び上狛城陽線等の周辺道路における事故多発に問題を感じている。【地域住民・事業所】 ・国道24号からの迂回交通が生活道路を利用することにより、交通安全に影響があると感じている。【警察機関】 	交通安全の確保
	防災に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・木津川や支流が氾濫した場合、国道24号が通行不能となる等、防災面に問題を感じている。【地域住民・事業所】 ・地域には天井川が多く、災害時に浸水し孤立地域が発生する可能性があるため、現在の道路網では、救急活動への影響があると感じている。【消防機関】 	災害時に強い道路ネットワークの確保
	まちづくりに関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の経済や産業の活性化に向けて、開発計画やまちづくりを支える道路の不足に問題を感じている。【地域住民・事業所】 ・今後のまちづくりに向けて、交通アクセスの向上が不可欠である。特に、新名神方面へのアクセス性が課題であり、その向上に期待している。【自治体】 	地域振興を支援する道路ネットワークの強化
宇治木津線(城陽～木津川)の整備計画について		<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民・道路利用者・事業者ともに、現状の課題を踏まえ、道路整備が必要だと思う割合が多く、地域の課題については、「木津川や支流が氾濫した場合、国道24号が通行不能となる」ことに問題だと感じている割合が多い。 ・自由意見では、「渋滞」に関する意見が最も多く、またその他意見として「道路整備」に関する意見が多い。【地域住民・事業所】 	災害時に強い道路ネットワークの確保 渋滞の緩和

3. 対応方針(ルート帯案)について

3-1. 対応方針(ルート帯案)の考え方

○第1回意見聴取結果を踏まえ、当該地域の課題を解決するための対応方針を検討。

◇当該地域の課題を早期に解決する政策目標の案を設定



◇対策案の検討

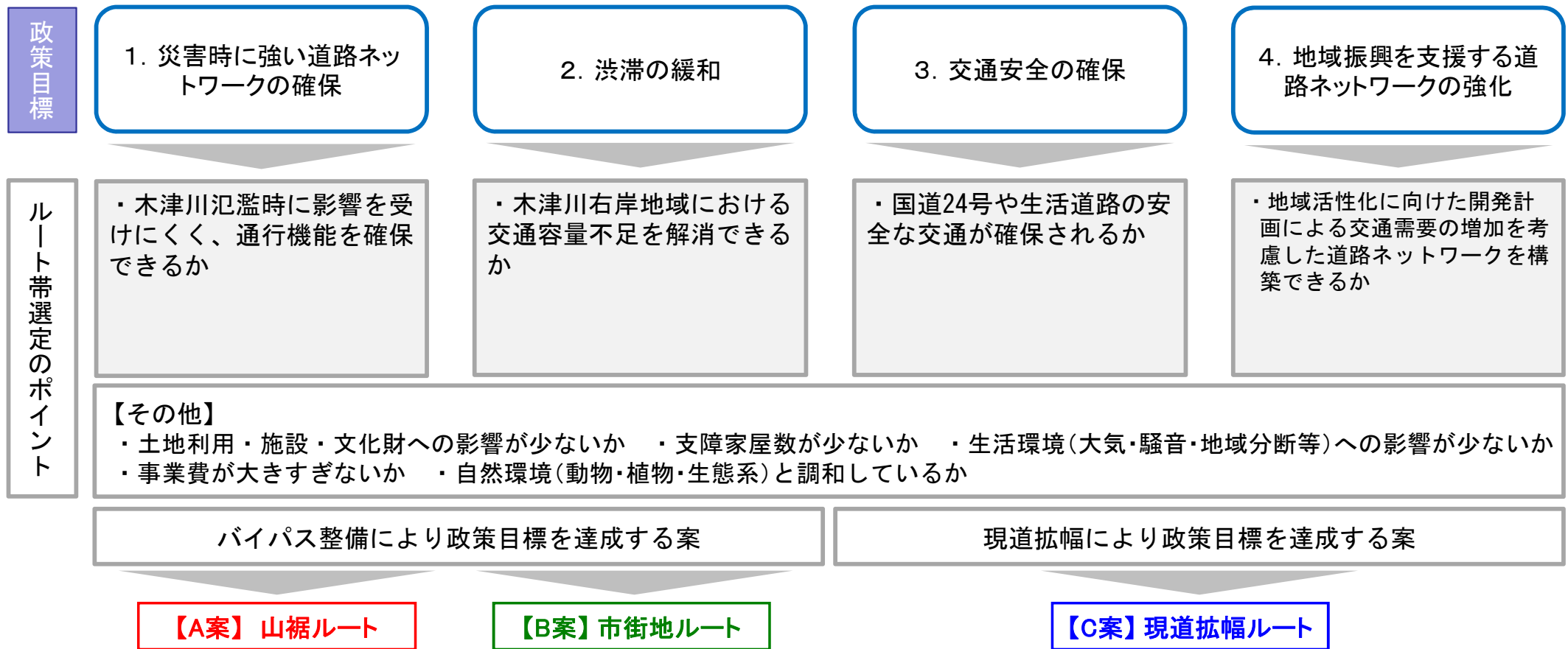


- 当該地域に求められるサービスとは
- ・災害時の代替路や強靱な道路の確保
 - ・国道24号の渋滞を緩和
 - ・交通事故の減少
 - ・木津川右岸地域の開発を支援する道路ネットワークの強化

当該地域の課題を解決し、地域の将来像を実現するルート帯案を設定

3-1. 対応方針(ルート帯案)の考え方

- ◆第1回意見聴取で地域の課題、政策目標等について確認できたことから、考慮すべき箇所や配慮すべき事項を踏まえて、ルート帯案を設定する。
- ◆設定したルート帯案が各政策目標にどのように資するのか等を整理し、第2回意見聴取で地域がより重視する政策目標を設定することで、地域のニーズを十分に踏まえたものであるかを確認する。



◇比較案

- 【A案】山裾ルート** …各開発地区(計画含む)間を連絡し、山裾を通過することで既成市街地からのアクセスも確保する案
- 【B案】市街地ルート** …家屋集積地を避けながら、出来るだけ既成市街地の近傍に導入空間を確保する案
- 【C案】現道拡幅ルート** …現道(対面2車線)を4車線に拡幅し、交通容量を拡大する案

3-2. ルート帯案の検討[A案:山裾ルート]

○開発地区(計画含む)間や防災拠点を連絡して、山裾を通過することで既成市街地からのアクセスも確保し、バイパスにより交通容量を拡大する案。

○考慮すべき箇所として、学校や神社仏閣などの社会的状況、自然的状況などに配慮する。

◇考慮すべき箇所の配置図



※開発地区等：事業中、都市・地区計画決定済み、都市・地区計画手続き予定を含む
 ※浸水想定区域：H29.6.14淀川河川事務所「洪水浸水想定区域図」公表資料を基に作成
 ※考慮すべき箇所：今後のルート帯案の決定を踏まえ、具体的にルートを決する段階で、地形的・地理的に特に考慮すべき箇所

3-2. ルート帯案の検討[B案:市街地ルート]

- 家屋集積地を避けながら出来るだけ既成市街地の近傍を通過し、バイパスにより交通容量を拡大する案。
- 考慮すべき箇所として、学校や神社仏閣などの社会的状況、自然的状況などに配慮する。

◇考慮すべき箇所の配置図



※開発地区等：事業中、都市・地区計画決定済み、都市・地区計画手続き予定を含む
 ※浸水想定区域：H29.6.14淀川河川事務所「洪水浸水想定区域図」公表資料を基に作成
 ※考慮すべき箇所：今後のルート帯案の決定を踏まえ、具体のルートを決する段階で、地形的・地理的に特に考慮すべき箇所

3-2. ルート帯案の検討[C案:現道拡幅ルート]

○現道(対面2車線)を4車線に拡幅し、交通容量を拡大する案。

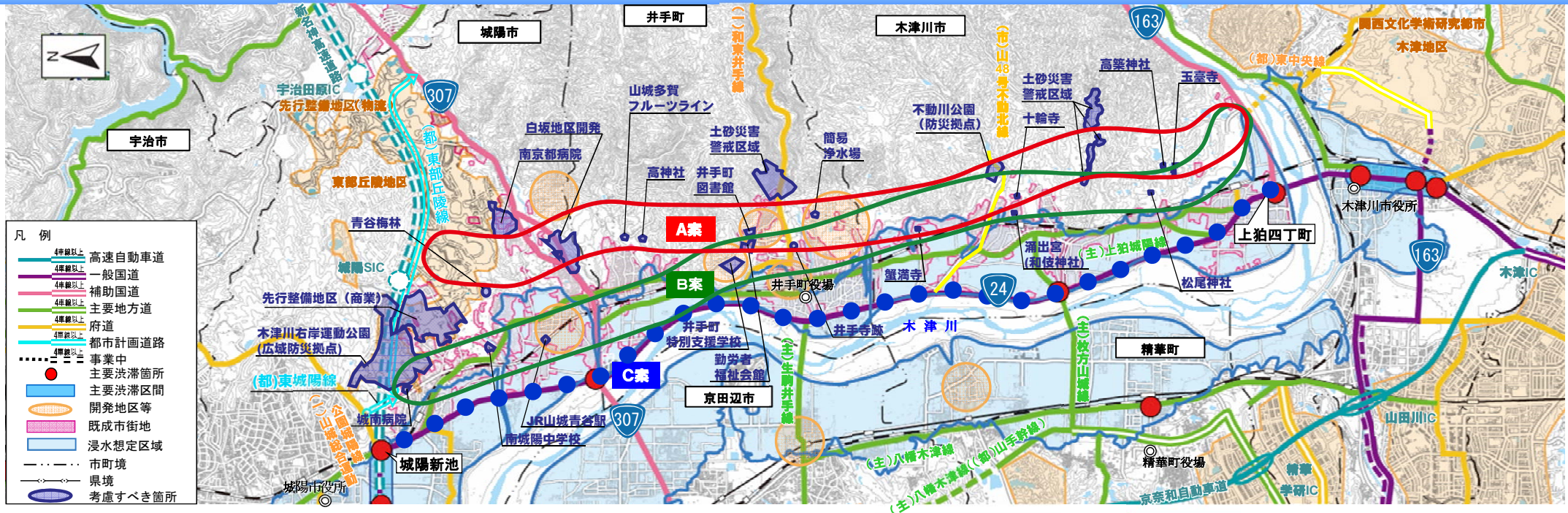
○考慮すべき箇所として、堤防部は堤防外側(河川と反対側)へ拡幅し、堤防部以外は沿道施設状況に配慮して拡幅する。

◇考慮すべき箇所の配置図



※開発地区等：事業中、都市・地区計画決定済み、都市・地区計画手続き予定を含む
 ※浸水想定区域：H29.6.14淀川河川事務所「洪水浸水想定区域図」公表資料を基に作成
 ※考慮すべき箇所：今後のルート帯案の決定を踏まえ、具体のルートを決定する段階で、地形的・地理的に特に考慮すべき箇所

3-3. ルート帯案の概要



評価軸	A案 山裾ルート	B案 市街地ルート	C案 現道拡幅ルート
項目	各開発地区(計画含む)間や防災拠点を連絡して、山裾を通過することで既成市街地からのアクセスも確保し、バイパスにより交通容量を拡大する案。	家屋集積地を避けながら出来るだけ既成市街地の近傍を通過し、バイパスにより交通容量を拡大する案。	現道(対面2車線)を4車線に拡幅し、交通容量を拡大する案。
政策目標	災害時に強い道路ネットワークの確保	・浸水想定区域外を通過するため、氾濫の影響を受けず、国道307号等の主要アクセス道路と一体で代替路としての機能を有する。 ・防災拠点(不動川公園等)へのアクセス性が向上する。	・浸水想定区域を通過する区間が多いが、高架等で回避する為、氾濫の影響を受けにくい。 ・防災拠点(不動川公園等)へのアクセス性が向上する。
	渋滞の緩和	・現道24号の交通量が低減でき、渋滞の緩和が期待できる。	・現道24号の交通量が低減でき、渋滞の緩和が期待できる。
	交通安全の確保	・現道24号の交通量が減少し、交通事故の低減が期待できる。 ・(主)上粕城陽線の交通量が減少し、生活道路の交通安全性の向上が期待できる。	・現道24号の交通量が減少し、交通事故の低減が期待できる。 ・(主)上粕城陽線の交通量が減少し、生活道路の交通安全性の向上が期待できる。
その他	地域振興を支援する道路ネットワークの強化	・(都)東部丘陵線及び城陽SIC(仮称)と(都)東中央線を最短距離で結び、東部丘陵地区と関西文化学術研究都市木津地区等の沿線のまちづくりを支援する。	・(都)東部丘陵線と(都)東中央線を結び、まちづくりを支援する。 ・(主)上粕城陽線の交通量が減少し、生活道路の交通安全性の向上が期待できる。
	生活環境(大気・騒音・地域分断等)への影響	・既成市街地を避け山裾を通過するため、地域分断等の生活環境への懸念が少ない。	・一部既成市街地を通過するため、地域分断等の生活環境への影響が懸念される。
	自然環境(動物・植物・生態系)への影響	・土工区間が多く、山の掘削や盛土により地形が変わる面積が最も大きい為、自然環境への配慮が必要。	・土工区間が多く、山の掘削や盛土により地形が変わる面積が大きい為、自然環境への配慮が必要。
	市街地からのアクセス	・既成市街地から離れた位置に計画されアクセス性に劣る。	・既成市街地からのアクセス性に優れる。
	移転等が必要な家屋数	約60棟	約180棟
コスト	約230億円(高架や用地補償費が少ない)	約330億円(高架や用地補償費が多い)	約420億円(用地補償費が多い)

※開発地区等：事業中、都市・地区計画決定済み、都市・地区計画手続き予定を含む
 ※浸水想定区域：H29.6.14淀川河川事務所「洪水浸水想定区域図」公表資料を基に作成
 ※考慮すべき箇所：今後のルート帯案の決定を踏まえ、具体的ルートを決定する段階で、地形的・地理的に特に考慮すべき箇所

4. 地域の意見聴取(第2回)の方法について

4-1. 意見聴取の内容

○2回目の意見聴取の内容は、地域・交通の課題を解消するために示したルート帯案は効果的かを確認するための質問の他、ルート帯案が地域のニーズを十分に踏まえたものであるかを確認するため、ルート帯案を検討する際に、配慮(重視)すべき項目に関する質問を設定。

1. 意見聴取(2回目)の内容

意見聴取の項目	把握する意見	回答方法
①国道24号の利用状況について	主な利用目的	選択式
	主な移動手段	選択式
	利用頻度	選択式
②ルート帯案について	地域・交通の課題を解消するために、今回示したルート帯案は効果的か	選択式
	効果的だと思わない理由は	記述式
③ルート帯案を検討する際に、配慮(重視)すべき項目	道路のどのような機能を重視すべきか	選択式
	どのようなことに配慮して計画をすべきか	選択式
	その他に配慮すべき事項は	記述式
④属性	性別、年齢、郵便番号 第1回アンケートの回答状況	選択式
⑤その他	自由意見	記述式

4-2. 意見聴取の対象者と方法

2. 意見聴取の対象(案)

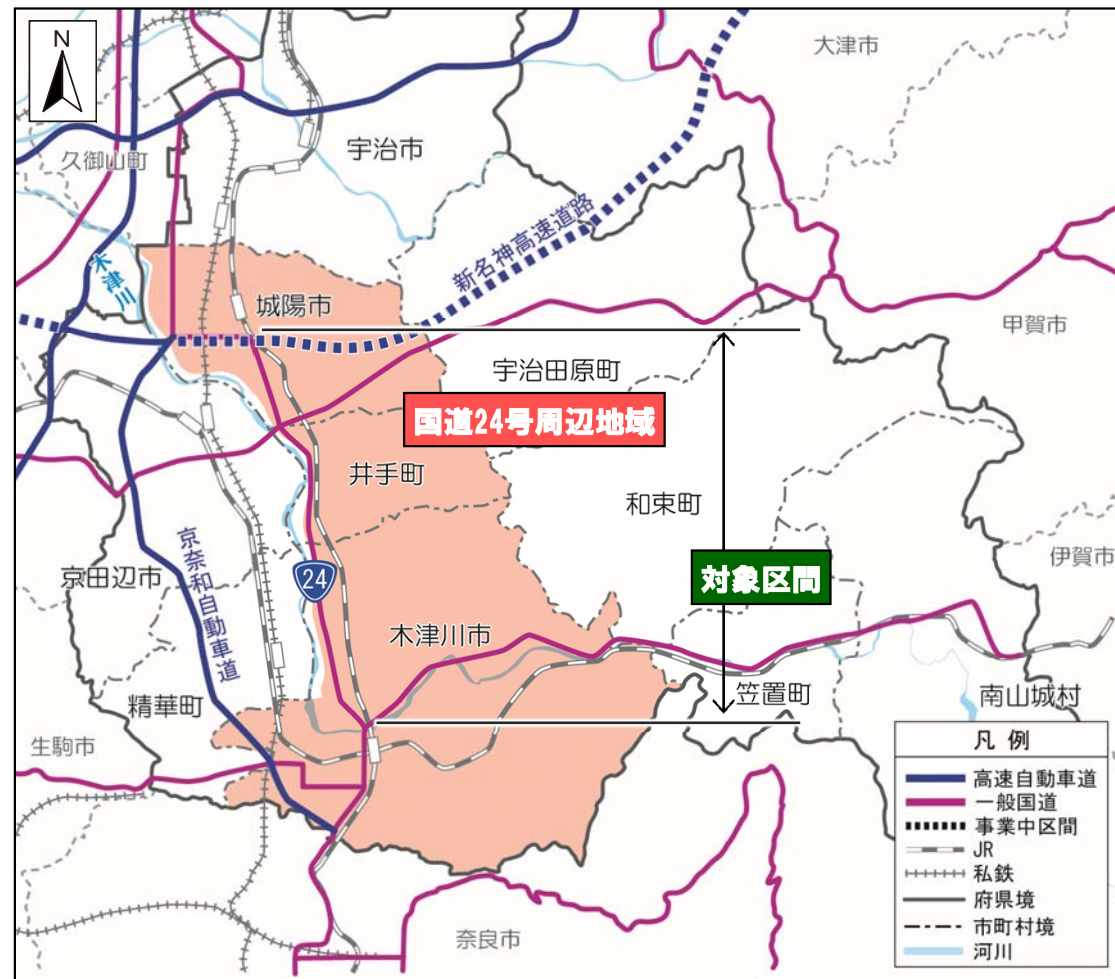
・アンケートによる意見聴取の対象

対象	調査対象者	調査手法	対象
地域住民	城陽市、井手町、木津川市	広報誌による配布・郵送回収 ※全世帯へ配布	約62,000世帯
道路利用者	京都府等	Webアンケート (京都国道・自治体HP)	—
	沿道地域	留置きアンケート (市町村役場、道の駅等に配置)	—
事業者	城陽市、井手町、木津川市	広報誌による配布・郵送回収 または、郵送配布・回収	約4,700事業所

・ヒアリング調査による意見聴取の対象

項目		
関係団体 (計24団体)	○自治体 【4自治体】	○経済団体 【3団体】
	○観光協会 【2団体】	○輸送機関 【2団体】
	○トラック協会 【1団体】	○農業協同組合 【5団体】
	○警察機関 【3団体】	○消防機関 【3団体】
	○医療機関 【1団体】	

・意向調査の配布範囲



3. 地域への意向調査の周知方法

情報提供の項目
市町が発行する広報誌折り込みを利用し、全世帯へ配布 京都国道・市町ホームページに意向調査のバナーを設置し、幅広く広報を実施

4. 意見聴取期間

・1ヶ月程度

5. 実施主体

・国土交通省 京都国道事務所

4-3. 意見聴取資料案

①調査概要

国道24号 城陽～木津川の 道路計画に関するアンケート調査

現在、計画の検討を進めています

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、アンケート調査を実施しています。このアンケートは、京都府南部（城陽市・井手町・木津川市）の道路計画について周辺地域の皆さまにご意見を伺うものです。前回（第1回）では、地域の皆さまが日頃感じている地域や道路の現状と課題について、ご意見をお伺いしており、今回（第2回）では、地域の課題を解決するための対策案についてお伺いします。ご多様の中、恐れ入りますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



お問い合わせ先

■調査実施主体

国土交通省 近畿地方整備局
京都国道事務所 計画課

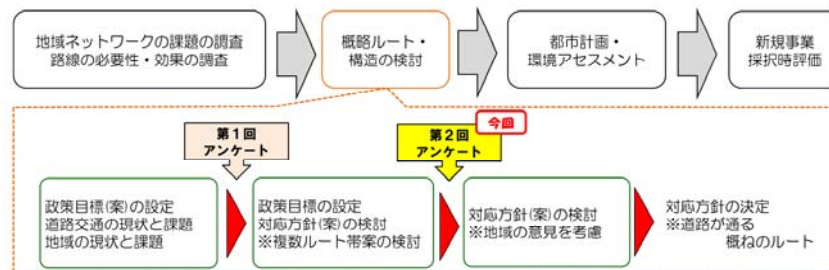
〒600-8234 京都市下京区西洞院通塩小路
下る南不動堂町808
電話：075-351-3300（代表）

■調査協力自治体

城陽市役所 東部丘陵整備課
井手町役場 建設課
木津川市役所 指導検査課

電話：0774-56-4028（直通）
電話：0774-82-6167（直通）
電話：0774-75-1224（直通）

皆さまのご意見をお聞かせください



地域の意見聴取の回答方法、実施期間

- 回答は同封された回答用の郵便はがきにご記入ください。また、インターネットによる回答も可能になっておりますので、下記アドレスからアクセス願います。
国道24号 城陽～木津川の道路計画に関するアンケート調査 Web回答用のページ
URL : <http://www.kyoto-natp.go.jp/24>
- 回答用の郵便はがきは、お近くのポストへ **平成29年〇月〇日（〇）** までに投かんをお願いします。
※ 1回目を回答していただけない方も回答できます。

回答用の郵便はがきの記入例

- 単一回答の設問は、あてはまる番号を**1つだけ**チェック(☑)してください。
- 自由回答の設問やその他の選択肢をチェックした場合は、具体的な内容を回答してください。

今回の調査は、国道24号 城陽～木津川周辺の地域（城陽市・井手町・木津川市）にお住まいの方々や事業所を対象とさせていただきます。調査結果は統計的に処理し、住所・氏名や個人の意見等が特定されることはありません。

4-3. 意見聴取資料案

②第1回地域の意見聴取について

(住民等／事業者等)

第1回 地域の意見聴取について

【住民の皆さまへの意見聴取】

○調査概要

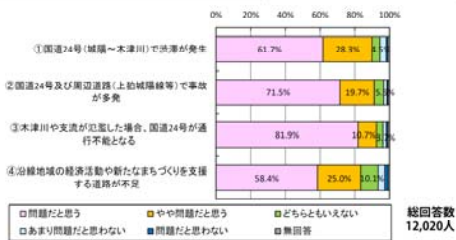
地域の意見聴取は、広報誌による配布・留置き・Webの3種類の 방법으로平成29年2月20日～3月15日に実施しました。広報誌による配布では、城陽市、井手町、木津川市すべての世帯に配布しました。留置きでは、市役所や役場への調査票を配置したり、Webでは、京都国道・京都府・3市町（城陽市、井手町、木津川市）のホームページで回答できるようにし、様々な方から回答をいただきました。

配布方法	配布・回収数		
	配布数	回収数	合計回収数
広報誌による配布	61,746部	11,517部	12,020部
留置き	—	294部	
Web	—	209部	

○地域の課題

地域の課題について、住民の皆さまから意見を頂き、確認しました。

道路交通に関する4項目について

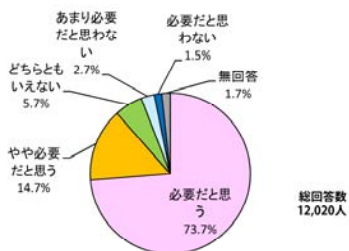


その他の課題

- ・国道24号の渋滞により、抜け道としての府道・市道に交通が集まり、非常に危険である。
- ・国道24号が渋滞することで、周辺道路、特に狭い住宅道路への車両進入が多発し、事故の原因となっている。
- ・災害時に避難道路の確保が不十分である。
- ・南北の道路が足りないため、経済活動に負の影響を与えている。など

○道路整備の必要性

道路整備の必要性について、住民の皆さまから意見を頂き、確認しました。



第1回 地域の意見聴取について

【事業者の皆さまへの意見聴取】

○調査概要

アンケート

事業者の皆さまへの意見聴取は、平成29年2月20日～3月15日に広報誌での配布・郵送配布方式で実施しました。

対象	回収数
城陽市	734社
井手町	44社
木津川市	603社
その他	53社
無回答	140社
合計	1,574社

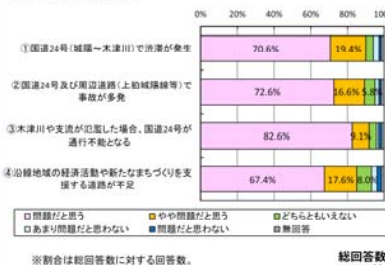
ヒアリング

京都南部地域の事業者の皆さまへの直接訪問し、意見をお聞きしました。

対象	実施状況
自治体	4社
経済団体	3社
観光協会	2社
輸送機関	2社
トラック協会	1社
農業協同組合	5社
警察機関	3社
消防機関	3社
医療機関	1社
計	24社

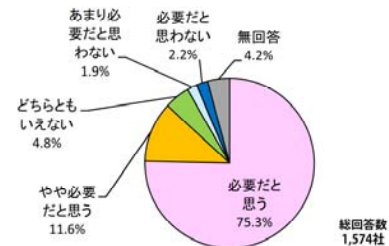
○地域の課題

地域の課題について、事業者の皆さまから意見を頂き、確認しました。



○道路整備の必要性

道路整備の必要性について、事業者の皆さまから意見を頂き、確認しました。



まとめ 地域の課題や道路整備の必要性についてとりまとめました

- ・第1回地域の意見聴取で提示した政策目標は、地域が感じている国道24号の主な課題を網羅している。
- ・地域住民・道路利用者、事業者の多くが、道路整備の必要性を感じている。

《必要とされる道路整備》

「国道24号周辺地域の政策目標を達成するための機能」を有するルート帯案を検討

第1回地域の意見聴取の結果についての詳細な内容は、[国道24号\(城陽～木津川\)の道路計画に関するアンケート調査のホームページ](http://www.city.yodogawa.lg.jp/roadplan/)(http://www.city.yodogawa.lg.jp/roadplan/)に掲載しております。

4-3. 意見聴取資料案

③ 国道24号(城陽～木津川間)の課題と目標

国道24号(城陽～木津川間)における課題解決のための目標を定めました。

国道24号(城陽～木津川)において、地域や道路という観点から課題の整理を行い、地域の皆さまからのご意見を整理した上で、課題を解決するための政策目標を以下のとおり定めました。

課題① 災害時に脆弱な道路ネットワーク

防災拠点をつなぐ右岸地域で唯一の緊急輸送道路である国道24号は、木津川や支流が氾濫した場合、浸水し通行不能となる可能性があります。また、沿線地域の居住者の7割が浸水想定区域内に住んでいるため、災害時における安全性の確保が課題となっています。

浸水想定区域の人口割合

地域	人口	割合
城陽市	21,023	64%
井手町	7,039	83%
木津川市(旧山城町)	7,132	81%
合計	35,194	67%

浸水イメージ(円山川(H16年台風23号)の例)

凡例

- 高速自動車道
- 一般国道
- 主要地方道
- 事業中区間
- JR
- 私鉄
- 市町境
- 第1次緊急輸送道路
- 浸水想定区域

※浸水想定区域：H29.6.14淀川河川事務所「洪水浸水想定区域図」公表資料を基に作成

政策目標①：災害時に強い道路ネットワークの確保

課題② 国道24号における渋滞の発生

国道24号は、城陽新池～山城大橋東詰交差点間、上拍四丁町～大谷交差点間で渋滞が発生し、利便性が低下しています。

山城大橋東詰交差点の状況

上拍四丁町交差点の状況

凡例

- 高速自動車道
- 一般国道
- 主要地方道
- 事業中区間
- JR
- 私鉄
- 市町境
- 平均旅行速度(km/h)
- 0～20km/h未満
- 主要渋滞箇所
- 主要渋滞区間

※難関交差点や地域の性格の差等を基に特定した地域全体として渋滞を顕微している箇所

出典：民間グローバルデータ(H27.3～H28.2(平日8時台))

政策目標②：渋滞の緩和

課題③ 国道24号および周辺道路における交通事故の発生確率が高い

国道24号の死傷事故率は、京都府内国道平均の最大2.5倍(混雑に起因する追突事故が要因)となっています。また、国道24号 城陽～木津川の渋滞をう回する車が周辺道路(上拍城陽線等)に進入し、歩行者との接触事故の危険性があります。

上拍城陽線の状況

上拍城陽線の状況

※死傷事故率：1万台の車が1万km走行した場合に発生した事故件数を表します。

凡例

- 高速自動車道
- 一般国道
- 主要地方道
- 事業中区間
- JR
- 私鉄
- 市町境
- 歩道あり
- 歩道なし
- 小学校

出典：TARORAデータ(H22～H25)

政策目標③：交通安全の確保

課題④ 経済活動や新たなまちづくりを支える道路が少ない

国道24号の周辺地域の市町内総生産額や製造品出荷額は減少傾向にあります。主な道路は国道24号と上拍城陽線しかなく、地域経済の活性化や新たなまちづくりを支える道路が少ないことが課題となっています。

市町内総生産額の変化(国道24号周辺地域)

年	総生産額(億円)
H19	2220
H23	1800

製造品出荷額の変化(H20年比率)

年	比率
H20	1.00
H21	0.85
H22	0.80
H23	0.78
H24	0.80
H25	0.72

凡例

- 主な企業(国道24号周辺)
- 工業団地
- 開発地区等
- 事業中及び都市-地区計画決定済
- 統計-地区計画手続き予定

出典：京都府市町村経済統計(推計)

政策目標④：地域振興を支える道路ネットワークの強化

4-3. 意見聴取資料案

④ルート帯(案)の概要

宇治木津線（城陽～木津川間）のルート帯の案

国道24号 城陽～木津川周辺地域について、政策目標を達成するための機能を有する道路として、検討区間のルート帯(500m帯)案を作成しました。



評価軸	A案 山裾ルート	B案 市街地ルート	C案 現道拡幅ルート
項目	各開発地区(計画含む)間や防災拠点を連絡して、山裾を通過することで既成市街地からのアクセスも確保し、バイパスにより交通容量を拡大する案。	家屋集積地を避けながら出来るだけ既成市街地の近傍を通過し、バイパスにより交通容量を拡大する案。	現道(対面2車線)を4車線に拡幅し、交通容量を拡大する案。
断面図	新規路線(2車線) 	新規路線(2車線) 	現道拡幅(4車線)
政策目標	災害時に強い道路ネットワークの確保	・浸水想定区域外を通過するため、氾濫の影響を受けず、国道307号等の主要アクセス道路と一体で代替路としての機能を有する。	・浸水想定区域を通過する区間が多いが、高架等で回避する為、氾濫の影響を受けにくい。
	渋滞の緩和	・防災拠点(不動川公園等)へのアクセス性が向上する。	・防災拠点(不動川公園等)へのアクセス性が向上する。
	交通安全の確保	・現道24号の交通量が低減でき、渋滞の緩和が期待できる。	・現道24号の交通量が低減でき、渋滞の緩和が期待できる。
その他	地域振興を支援する道路ネットワークの強化	・(都)東部丘陵線及び城陽SIC(仮称)と(都)東中央線を最短距離で結び、東部丘陵地区と関西文化学術研究都市木津地区等の沿線のまちづくりを支援する。	・(都)東部丘陵線と(都)東中央線を結び、まちづくりを支援する。
	生活環境(大気・騒音・地域分断等)への影響	・既成市街地を避け山裾を通過するため、地域分断等の生活環境への懸念が少ない。	・一部既成市街地を通過するため、地域分断等の生活環境への影響が懸念される。
	市街地からのアクセス	・既成市街地から離れた位置に計画されアクセス性に劣る。	・既成市街地からのアクセス性に優れる。
コスト	約230億円	約330億円	約420億円

※開発地区等：事業中、都市・地区計画決定済み、都市・地区計画手続き予定を含む

※浸水想定区域：H29.6.14淀川河川事務所「洪水浸水想定区域図」公表資料を基に作成

※考慮すべき箇所：今後のルート帯案の決定を踏まえ、具体的ルートを決定する段階で、地形的・地理的に特に考慮すべき箇所

4-3. 意見聴取資料案

⑤質問票(事業所用)

第2回アンケート調査票 事業所用

※代表の方がハガキに回答をご記入ください。

問1 貴事業所の普段の道路利用についてお聞きします。

国道24号(城陽~木津川)の道路利用に関する①~②の間の回答について、ハガキにご記入ください。その他を選択された方は、()内に具体的な内容をご記入ください(図を1つずつ)。

①. 貴事業所の主な運行目的	1. 営業	2. 運送・運搬	3. 送迎
	4. 旅客	5. 運行しない(※問2へ)	6. その他
②. 利用頻度	1. ほとんど毎日	2. 週に3~4回	3. 週に1~2回
	4. 月に1~2回	5. 年に数回	

問2 お示したルート帯案についてお聞きします。

問2-1 国道24号(城陽~木津川)において、地域・交通の課題を解消するために、今回お示したルート帯案は効果的だと思われますか?回答をハガキにご記入ください。(図を1つ)

1. 効果的だと思う	2. やや効果的だと思う	3. どちらともいえない	→ (※問3へ)
4. あまり効果的だと思わない	5. 効果的だと思わない	→ (※問2-2へ)	

問2-2 今回お示したルート帯案は効果的だと思わない理由について、ハガキの回答欄にご自由にご記入ください。
→ (※問4へ)

問3 重視すべき項目についてお聞きします。

問3-1

ルート帯案を検討する際に、道路のどのような機能を重視すべきだと思われますか?あなたが重視する項目を2つまで選び、回答をハガキにご記入ください(図を2つ)。

- ① 災害時に強い道路ネットワークとなっていること
- ② 国道24号の渋滞を緩和する道路となっていること
- ③ 交通安全の確保に寄与する道路となっていること
- ④ 地域振興を支援する道路ネットワークとなっていること

問3-2

新たな道路の計画にあたって、どのようなことに配慮して計画をすべきだと思われますか?あなたが配慮する項目を2つまで選び、回答をハガキにご記入ください(図を2つ)。

- ① 生活環境(大気・騒音・地域分断等)への影響が少ないこと
- ② 自然環境(動物・植物・生態系)への影響が少ないこと
- ③ 市街地からのアクセス性に優れること
- ④ 道路整備により影響する家屋が少ないこと
- ⑤ 事業費(コスト)が安いこと

裏面につづく→

郵便はがき

6 0 0 8 2 3 4

料金受取人氏

差出有効期限
平成00年00月
00日まで

京都府京都市下京区西洞院通
塩小路下る南不動産町808

国土交通省近畿地方整備局
京都国道事務所
計画課 行

問1 ①主な運行目的について(単一回答)
 1 2 3 4 5 6
②利用頻度について(単一回答)
 1 2 3 4 5

問2-1 お示したルート帯案について(単一回答)
 1 2 3 4 5

問2-2 効果的だと思わない理由

問3-3

その他、ルート帯案を検討する際に配慮すべき事項があれば、ハガキの回答欄に具体的にお答えください。

問4 貴事業所のことについてお聞きします。

①~④のそれぞれの問について、回答をハガキにご記入ください(図を1つずつ)。「①郵便番号」については、□内に数字をご記入ください。
なお、その他を選択された方は、()内に具体的な内容をお書きください。

①郵便番号

〒□□□□-□□□□
※郵便番号をご記入ください

②従業員数

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 1~4人 | 2. 5~9人 |
| 3. 10~19人 | 4. 20~29人 |
| 5. 30~49人 | 6. 50~99人 |
| 7. 100~199人 | 8. 200~299人 |
| 9. 300人以上 | |

③貴事業所の主な業種

1. 農業、林業
2. 漁業
3. 鉱業、採石業、砂利採取
4. 建設業
5. 製造業
6. 電気・ガス業・熱供給・水道業
7. 情報通信業
8. 運輸業、郵便業
9. 卸売業、小売業
10. 金融業、保険業
11. 不動産業、物品賃貸業
12. 学術研究、専門・技術サービス業
13. 宿泊業、飲食サービス業
14. 生活関連サービス業、娯楽業
15. 教育、学習支援業
16. 医療・福祉業
17. 複合サービス業
18. その他サービス業
19. その他()

④前回の第1回地域の意見聴取(H29.2.20~3.15)に回答をしましたか?

1. 回答した 2. 回答していない

問5 その他

ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力いただき、ありがとうございました。

問3-1 ルート帯案を検討する際の、道路の重視すべき機能(チェック2つ)
 1 2 3 4

問3-2 新たな道路の計画にあたって、配慮すべき内容(チェック2つ)
 1 2 3 4 5

問3-3 配慮すべき事項

問4 貴事業所についてお聞かせください(単一回答)
①郵便番号 〒□□□□-□□□□ ※郵便番号をご記入ください
②従業員数 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 その他: _____
③主な業種 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 その他: _____
④前回の回答 1 回答した 2 回答していない

問5 ご意見・ご要望

5. 今後の計画段階評価のすすめ方(案)

5. 今後の計画段階評価のすすめ方(案)

■今後の計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)

地域住民や道路利用者の意見を聞きながら、道路計画【概略の計画案(複数案)】について検討を行う。

今回

【平成28年12月】

【平成29年 2月～】

【平成29年 9月】

第1回 近畿地方小委員会

- 地域の現状と課題
 - ・右岸地域における地域活力低下
 - ・国道24号が寸断した場合の防災機能損失
 - ・国道24号の速度低下と事故多発
- 政策目標案の設定
- 第1回意見聴取方法
- 計画段階評価の進め方

地域の意見聴取 (第1回)

- ①地域の課題
- ②道路交通の課題
- 第1回意見聴取方法
《アンケート調査等》
- 対象者：
地域住民
事業所
(工業団地・企業等)
道路利用者
地元代表者等

第2回 近畿地方小委員会

- 第1回意見聴取結果の確認
- 政策目標の設定
- 複数案比較及び計画範囲
⇒概ね500m帯ルート
- 第2回意見聴取方法

地域の意見聴取 (第2回)

- ①評価項目
- ②複数案の比較評価
- 第2回意見聴取方法
《アンケート調査等》
- 対象者：
地域住民
事業所
(工業団地・企業等)
道路利用者
地元代表者等

第3回 近畿地方小委員会

- 第2回意見聴取結果の確認
- 対策方針案の検討
(地域の意見を考慮)

対応方針の決定
(道路が通る概ねのルート)

地方小委員会